

外国人へのリプロダクティブ・ヘルス向上の支援

聖路加国際大学 ウィメンズヘルス・助産学 准教授 五十嵐 ゆかり

2017年に外国人労働者の受け入れが本格化し、日本に滞在する外国人が増える中、外国人のリプロダクティブ・ヘルスに対する性の健康教育の問題が浮き上がってきています。そこで、近年の現状と対策について、聖路加国際大学ウィメンズヘルス・助産学 准教授の五十嵐ゆかり氏にご寄稿いただきました。

日本における人口潮流の変化

2018年末の在留外国人数は、273万1,093人で、2017年末に比べ16万9,245人(6.6%)増加となり過去最高となった(図1)。また、外国人人口の総数に占める在留資格「永住者」の人口は、2015年に70万人を超え、2018年には77万1,568人(28.3%)に達した¹⁾。うち、中国出身は76万4,720人(構成比28.0%)、前年同年比で4.6%増である(図2)。男女比で見ると、女性が140万3,200人(構成比51.4%)、男性が132万7,893人(構成比48.6%)と、女性の数が多い¹⁾。

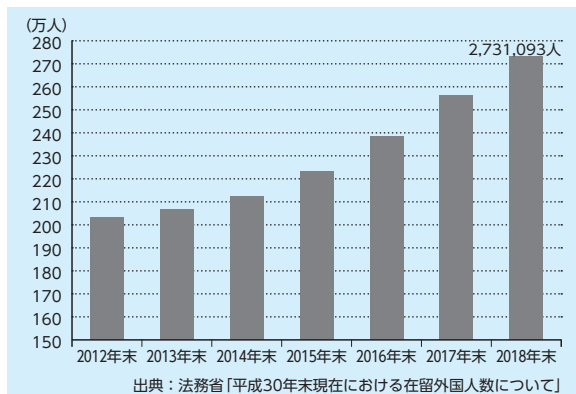


図1 在留外国人数の推移(総数)

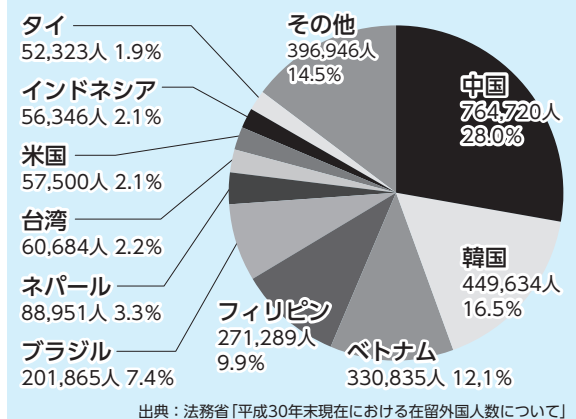


図2 在留外国人の構成比(国籍・地域別・2018年末)

そして、父母の一方が外国人の場合の出生数を見ると、1995年に2万人を超え、以後2万人前後で推移している。2017年は1万8,134人と減少したもののわが国の出生数も減少傾向にあり、父母の一方が外国人の場合の出生数が全体の約2%であることには変化はない²⁾。また国籍別で見ると、母が外国人の場合の1位は中国3,219人(37%)、2位フィリピン1,611人(19%)、3位韓国1,463人(17%)と、在住者も出産も中国出身者が圧倒的に多い。

若い世代の一定期間の定住も増加している。日本学生支援機構によると、2018年の留学生数は、29万8,980人であり、前年より3万1,938人(12.0%)増加している³⁾。つまり性行動が活発な世代の外国人が年々増加傾向にあり、留学生向け性教育の筆者への依頼も増えてきている。

さらに、外国人の入国に関して大きな変革があり、人口動態が変化している。

まず、2017年11月に外国人の技能実習の適正

な実施及び技能実習生の保護に関する法律(技能実習法)が施行された。在留資格は技能実習1号～3号までであり、それぞれの区分において認定が必要ではあるが、在留期間は最長5年まで認められることとなった⁴⁾。それだけでなく2018年12月、「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が成立し、交付された。この改正法は、在留資格「特定技能1号」(通算5年間の滞在)、「特定技能2号」(条件を満たせば回数の制限なく更新可能、配偶者と子どもの家族帯同可能)の創設と、新しく出入国在留管理庁の設置等を内容とするものである⁵⁾。これらの法改正により、多様な人々の定住の期間も長くなることが予測される。つまり、生活者の彼らとその家族の受け入れに際し、特に生活や保健医療における支援体制の整備が急務な状況にあると言える。

リプロダクティブ・ヘルス向上のための支援

このように法律などの改正によって多様な背景を持つ生活者が増え、特に就労する若い世代が増加していくと言える。急速に人口潮流が起こり、定住する生活者は家族を形成していくため母子への支援ニーズが必要になることは容易に予想される。近年、多くの自治体や民間団体から出産に関する妊娠・分娩・産後や育児に関する冊子や映像などの多様な形態での多言語リソースが提供されたり、言語に精通した人による相談窓口が設置されたりなど、緩やかではあるが整備が進んできている。

加えて言えば、出産に関することだけではなく、リプロダクティブ・ヘルスの観点からライフプランを意識した支援も必要である。しかし、特に性教育に関しては、いまだ支援が進んでいない状況である。避妊の説明は、産後であれば退院前に次子の妊娠に関連するため何らかの説明はあるが、妊娠前の留学生や就労女性などはその機会がない。自国で情報を得ている場合もあるが、日本の性教育の状況と類似しており、高校を卒業した後に性教育を受ける機会がなく、インターネット上の適切・不適切が混在する情報を知識とし、その結果、望まない妊娠や性感染症に罹患する場合も少なくない。特に外国人技能実習生の場合は統計上には表れないような妊娠に関するトラブルが増えてきているともいわれている⁶⁾⁷⁾。知り合いも少ない他国で長く生活すれば、性行動があること

執筆者紹介 | 五十嵐ゆかり

シドニー大学修士課程修了。聖路加看護大学大学院博士後期課程修了。2010年より聖路加看護大学(現：聖路加国際大学)に勤務し、現在に至る。主な著書は「母性看護学Ⅰ」「母性看護学Ⅱ」(医歯薬出版)、「国際化と看護」(メディカ出版)など。多文化医療サービス研究会(RASC)代表。



は人間の欲求や本能として自然の流れだろう。このような状況の中で、例えば、入国前に女性の健康維持の一つとして、リプロダクティブ・ヘルスについて医療者から研修を受ける機会があれば良いが、現状ではその機会がない。そのため、何か起こってしまったから民間団体などに駆け込むか、あるいは病院に受診する、などという状況がほとんどで、予防的な行動はとられていない。だからこそ、保健医療を取り扱う施設などには、この教材「あなたの体を守るために～避妊と性感染症～」(詳細は裏面参照)などを用意し、ぜひ健康とライフプランを考えるための支援をしていただきたい。

人口動態に鑑みて、まずは中国語版から作成した。このリーフレットの特徴として、日本で可能な避妊方法が説明されている。避妊方法は各国で方法が異なるため、ぜひ理解を促してほしい。また、性感染症については、日本人もぜひ確認してほしい。特に梅毒は、2016年ごろから罹患が急激に増えてきている⁸⁾(図3)。症状だけではなく、受診の費用や持ち物なども記載されているため、医療へアクセスする際の役立つツールとなる。支援する方は、医療者でなくてもリーフレットを見れば説明が可能であるため、教育機関では留学生に、入国時には技能実習生などの就労などを目的とする方に、そして定住者には医療施設の外来や行政機関の窓口などで配布をしていただきたい。2019年8月に出入国在留管理庁長官は、「外国人支援士」の創設も検討している、と発言した。外国人支援士が誕生し、保健医療に関する相談も役割の一つになることを願う⁹⁾。共に社会をつくる外国人のリプロダクティブ・ヘルスの向上のため適切な情報提供を支援とし、このリーフレットを使用いただければ幸いである。

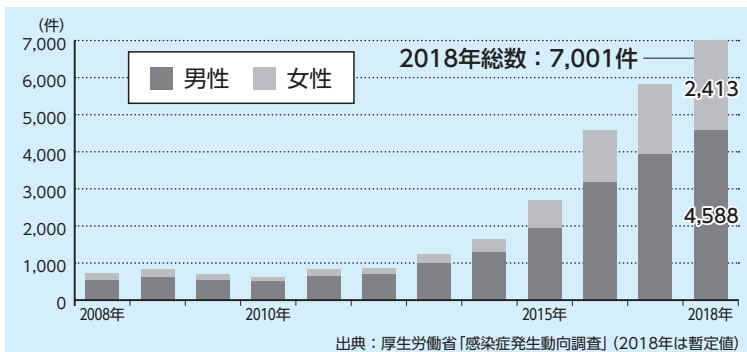


図3 梅毒感染報告数の年次推移

1) 法務省(2019)平成30年末現在における在留外国人数について http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04_00081.html
2) 人口動態統計確定数 出生4-32 父母の国籍別にみた年次別出生数及び百分率 <https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003214689>
3) 日本学生支援機構(2018)平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果：大学院・大学(学部)・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)・準備教育課程・日本語教育機関における留学生数の推移 https://www.jasso.go.jp/sp/about/statistics/intl_student_e/2018/_icsFiles/afieldfile/2018/12/18/datah30z_2suii.pdf
4) 公益財団法人 国政研修協力機構 外国人技能実習制度の概要 <https://www.jitco.or.jp/ja/regulation/>

5) 入国管理局 入管法及び法務省設置法改正について http://www.immi-moj.go.jp/hourei/h30_kaisei.html
6) 東京新聞(2019)外国人実習生、相談できず中絶 妊娠理由に解雇後絶たず <https://www.tokyo-np.co.jp/article/national/list/201903/CK2019030302000128.html>
7) 東洋経済Online(2019)妊娠した技能実習生が迫られた「究極の2択」ベトナムや中国から来た女性たちの実情 <https://toyokeizai.net/articles/-/261158>
8) NIID国立感染症研究所(2019)日本の梅毒症例の動向について <https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m/syphilis-trend.html>
9) JIJI.COM(2019)新資格で3千人就労へ「外国人支援士」創設もー佐々木入管庁長官 <https://www.jiji.com/jc/article?k=2019082800873&g=pol>

JFPAの教材
ご案内機会が増える 外国人のための健康教育
言葉の壁もこれで解消!見本のお申し込みは
FAX:03-3267-2658まで!

海外からの観光・労働などで日本を訪れる外国人が増える中、保健指導で日本語以外の言語で健康教育を行う機会が増えた専門職の方も多いのではないのでしょうか。

了解性感染症

性感染症とは、性行為によって感染する病気のことです。予防のためには、正しい知識と適切な行動が大切です。

性感染症を知ろう

性感染症は、性行為によって感染する病気のことです。予防のためには、正しい知識と適切な行動が大切です。

妊娠・性感染症が疑われたら

妊娠中に性感染症に感染すると、赤ちゃんに悪影響を及ぼす可能性があります。早急な検査と治療が重要です。

为了保护您的身体，请做好避孕措施及预防性传染病

あなたの体を守るために、避妊と性感染症予防の両方を意識しましょう。

(表)

各種避孕方法

避妊方法は、避妊効果と副作用のバランスを考慮して選択する必要があります。

さまざまな避妊法

避妊方法は、避妊効果と副作用のバランスを考慮して選択する必要があります。

緊急避妊法

避妊失敗した場合の緊急対応方法。早急な行動が求められます。

人工流産

人工的に流産する方法。慎重な判断が必要です。

(裏)

中国語での避妊や性感染症の指導に

性教育などの健康教育が十分でない外国人のリアルタイム・ヘルスを守るため、避妊や性感染症予防を啓発する教材を制作しました。

今回ご紹介する中国語版リーフレットで

は、避妊法の選択や受診の際に気を付ける点などを記載しています。

中国語と日本語を併記し、写真やイラストを多用しているため、対象者にも分かりやすく指導しやすい教材です。

カタログ

2020年版(下記)
P.337もチェック!

あなたの体を守るために
避妊と性感染症

204801

仕様 A4判/片綴り(6ページ)/1セット10部入り(10部単位での販売となります)/オールカラー ※名入れ印刷はできません
定価 本体4,000円+税

教材・備品カタログ 2020年版 完成!

約1900点の教材と備品を収載した本会のカタログ、2020年版が完成しました。新しく加わった約20点の教材や備品の一部をご紹介します。

- ☐ 赤ちゃんの股関節脱臼のチェック方法や離乳食を段階別にアドバイスした健康メモ
- ☐ 好評を得ている思春期悩み解決ブック「U18」の女の子版「U18F」
- ☐ 栄養指導に最適な「コンビニごはんガイド」に「健康長寿編」「女性編」「体内時計編」登場
- ☐ 保健指導の初回時に頼りたい面談ツール「Health Plus」や特定健診推進ツール など

カタログは9月下旬から全国配送しています。送付を希望の方は、本会HPから申し込みください(送料本会負担)。
<http://www.jfpa.or.jp/catalog/>

2020年新作教材のご案内

母子健康 **思春期健康** **成人**

健康メモ **書籍類** **健康メモ**

母子健康

赤ちゃんの股関節脱臼のチェック方法や離乳食を段階別にアドバイスした健康メモ

思春期健康

思春期の悩みを解決するためのブック「U18」の女の子版「U18F」

成人

栄養指導に最適な「コンビニごはんガイド」に「健康長寿編」「女性編」「体内時計編」登場

健康メモ

保健指導の初回時に頼りたい面談ツール「Health Plus」や特定健診推進ツール など

書籍類

「健康」&「社会」に関する最新情報や、健康づくりをサポートする教材

健康メモ

赤ちゃんの股関節脱臼のチェック方法や離乳食を段階別にアドバイスした健康メモ

書籍類

「健康」&「社会」に関する最新情報や、健康づくりをサポートする教材

健康メモ

保健指導の初回時に頼りたい面談ツール「Health Plus」や特定健診推進ツール など

書籍類

「健康」&「社会」に関する最新情報や、健康づくりをサポートする教材